

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU-R部会  
地上業務委員会(第7回) 議事概要(案)

1 開催日時

平成21年10月2日(金)15:00～17:20

2 場所

総務省 10階 共用10階会議室

3 出席者(敬称略、順不同)

[構成員]

高畑 文雄(主査)、飯塚 留美、佐藤 明雄、佐藤 孝平、土田 敏弘、中村 勝英、橋本 明

[説明者]

新 博行、石川 禎典、鬼頭 英二、小西 聡、庄納 崇、丹野 元博、中村 武宏、野本 真一、  
畑川 養幸、本多 美雄

[事務局]

竹内移動通信課長、坂中移動通信企画官、井出課長補佐、山崎係長、江原官(移動通信課)

4 配付資料

資料地－７－１ 地上業務委員会(第6回)議事要旨(案)

資料地－７－２ ITU-R SG5 WP5D第5回会合報告書

資料地－７－３ ITU-R SG5 WP5D第6回会合への日本寄与文書(案)

資料地－７－４ ITU-R SG5 WP5D第6回会合への対処方針(案)

参考資料 1 第4世代移動通信システムの無線方式に関する日本提案について

参考資料 2 ARIBからの支持表明に関する文書(IEEE)

参考資料 3 ARIBからの支持表明に関する文書(3GPP)

参考資料 4 ITU-R SG5会合に関する活動の中間報告

参考資料 5 ITU-R SG5 WP5D第6回会合の開催案内

参考資料 6 ITU-R SG5 WP5D第6回会合の日本代表団一覧

参考資料 7 地上業務委員会 構成員名簿

## 5 議事概要

### (1) 地上業務委員会(第6回)議事概要について

#### 【資料地7-1】

地上業務委員会(第6回)議事概要(案)について、特段の意見なく承認された。

### (2) ITU-R SG5 WP5D 第5回会合の報告について

#### 【資料地7-2】

事務局より、平成21年6月に開催されたWP5D第5回会合の報告があり、以下の質疑応答の後、承認された。

橋本構成員より、本報告書内の付属資料5 出力文書一覧に記載のある「status」の分類方法が不明確なため明確化した方が良いとの指摘があり、今後検討となった。

### (3) ITU-R SG5 WP5D会合への日本寄書について

佐藤構成員より、参考資料1を用いて、IMT-Advanced無線インタフェース技術提案に関する全体的な検討状況について説明があった。

#### 【資料地7-3-1】

野本氏より、IEEE 802.16に基づくIMT-Advanced のための無線インタフェース技術の提案に関する寄与文書案について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

#### (質疑応答)

高 畑 主査：他にも同様な提案はある予定か。

野 本 氏：韓国の標準化機関TTAから同様な提案がある模様。また、IEEEからの無線インタフェース技術提案を WiMAX Forum が支持し、その考えをIEEEの会員も支持する予定と聞いている。

橋 本 構成員：ITUへ提出する際に寄与文書量も多いので適切なページ番号の付け方を考える必要がある。

佐 藤 構成員：無線インタフェース技術提案の際に必要なテンプレートを用意するところのような膨大な量になってしまう。ページ番号の付け方については、事務局と相談して決めたい。

#### 【資料地7-3-2】

丹野氏より、LTE-Advancedに基づくIMT-Advanced のための無線インタフェース技術の提案に関する寄与文書案について説明が行われ、以下の質疑応答の後、エディトリアルな修正を施したうえで承認された。

(質疑応答)

高 畑 主査：他にも同様な提案はある予定か。

佐 藤 構成員：韓国は、標準化機関 TTAが提出予定。ヨーロッパは ETSI、アメリカは、ATISが同様な提案を行う予定。

高 畑 主査：IMT-Advanced に関する標準化について、引き続き国際競争力強化の観点から貢献を期待する。

【資料地7-3-3】

畑川氏より、WP5DにおけるIMTに特化したコグニティブ無線システムの課題の検討の進め方と、IMTに特化したコグニティブ無線システムの課題に関する考察に関する寄与文書案について説明が行われ、エディトリアルな修正を施したうえで承認された。

【資料地7-3-4】

新氏より、ITU-R勧告M.1036-3改定草案に向けた作業文書への修正提案に関する寄与文書案について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(質疑応答)

飯 塚 構成員：イギリスでは、external band として、3.4-3.8GHz帯を開放しようとの動きがあるが、今後、欧州とも協調する予定はあるのか。

新 氏：ヨーロッパは、external band に関する議論を開始した段階。検討周波数帯域は、3.4-3.8GHz と伺っている。協調できる部分は、協調していきたい。

【資料地7-3-5】

小西氏より、Report ITU-R M.2039の改訂に関する方向性の提案に関する寄与文書案について説明が行われ、エディトリアルな修正を施したうえで承認された。

【資料地7-3-6】

本多氏より、第6回WP 5D会合におけるIMT-Advanced開発のためのアクションの提案に関する寄与文書案について説明が行われ、特段の質疑なく承認された。

本寄与文書案は、日中韓の共同提案を検討中である旨の説明が本多氏よりあった。

【資料地7-3-7】

石川氏より、IMT.RADIOの構成と内容に関する提案に関する寄与文書案について説明が行われ、特段の質疑なく承認された。

本寄与文書案は、日中韓の共同提案を検討中である旨の説明が石川氏よりあった。

(4) ITU-R SG5 WP5D第6回会合への対処方針について

【資料地7-4】

事務局より、ITU-R SG5 WP5D第6回会合への対処方針(案)について説明があり、特段の質疑なく承認された。

(6) その他

【参考資料2~7】

橋本構成員より、参考資料4について説明があり、その他の参考資料は、事務局より説明があった。

外国寄与文書の対処については対処方針の通りとし、特に審議が必要と思われるものについては、主査との相談又は地上業務委員会でメール審議をお願いする旨、事務局から説明が行われた。併せて、承認された寄書について、今後他国との調整等により趣旨を変えない範囲で共同寄書とする等、文書案の変更の可能性がある旨、事務局から了承を求め、承認された。